

ラウンドアップ・レディー・トウモロコシ NK603 系
統とチョウ目害虫抵抗性トウモロコシ MON810 を掛
け合わせた品種について

Report

Biological effects of transgenic maize NK603 x MON810 fed in long
term reproduction studies in mice

[http://www.bmgfj.gv.at/cms/site/attachments/3/2/9/CH0810/CM
S1226492832306/forschungsbericht_3-2008_letztfassung.pdf](http://www.bmgfj.gv.at/cms/site/attachments/3/2/9/CH0810/CM
S1226492832306/forschungsbericht_3-2008_letztfassung.pdf)

ラウンドアップ・レディー・トウモロコシNK603系統とチョウ目害虫抵抗性トウモロコシMON810を掛け合わせた品種について

平成20年11月11日、オーストリア連邦厚生家族青少年省（BMGFJ）は、ラウンドアップ・レディー・トウモロコシNK603系統とチョウ目害虫抵抗性トウモロコシMON810を掛け合わせた品種（以下、「トウモロコシNK603×MON810」という。）のマウスにおける繁殖試験の結果を公表した。本試験は、BMGFJの委託によりウィーン獣医大学においてが実施された。なお、概要は以下のとおりである。

1 調査目的

トウモロコシNK603×MON810の摂取によるマウスの繁殖への影響を調査する。

2 給餌方法

試験群にはトウモロコシNK603×MON810を33%含む餌を給餌した。また、対照群には近縁種である非組換えトウモロコシを33%含む餌を給餌した。

なお、配合した飼料の主要栄養成分（灰分、粗脂肪、タンパク質、繊維、炭水化物）、ミネラル、ビタミン類などの分析を行い、分析値の比較を行っている。

3 調査方法及び内容

①多世代毒性試験

OF1マウス（F0：各群18組、F1及びF2：各群24組、F3：各群22組）において、第4世代までの試験を実施し、体重、同腹仔数、出産数、臓器重量、組織学的検査、CD3+リンパ球の免疫組織、マイクロアレイによる網羅的な遺伝子発現解析、電子顕微鏡による核の形態検査などの調査を実施した。

②長期毒性試験

OF1マウス（各群雌10匹）における22ヶ月間の長期毒性試験を実施し、生存期間の調査を実施した。

③継続繁殖試験

OF1マウス同一世代（各群24組）に20週の間4度出産をさせ、それぞれの出産時における体重（親及び仔）、同腹仔数、出産数などの調査を実施した。

4 調査結果

①多世代毒性試験

試験群と対照群との間に有意な差は認められなかった。

②長期毒性試験

試験群と対照群との間に有意な差は認められなかった。

③継続繁殖試験

試験群は対照群と比べて、3度目及び4度目の出産数及び同腹仔数が有意に減少した。

5 結論

繁殖影響評価には、多世代毒性試験より継続繁殖試験の方が適している。継続繁殖試験で認められた影響が他の動物に起こり得るのかを、今後のGM食品及び飼料の安全性試験で考慮すべきである。